

爆たり  
四中  
学校たより

MIGAKI AU



19 限目

2月6日金

## あこがれの先輩て？

先週、小学6年生に対して入学説明会がありました。生徒会の人たちが、中学生生活の決まりや生活のようす、部活動の内容などを説明してくれました。いよいよ、2年生は最上級生となり、1年生は先輩としての立場になってきます。そこで今回は、先輩というイメージについて話したいと思います。

私は、小中、高とサッカーをしていて、よく全国大会に出場する有名なチームに所属していました。当然、練習も厳しければ、先輩たちも厳しかったです。中学校の時は、1つ上の先輩はもちろんのことですが、2つ上の先輩ともなると、まさに雲の上の存在で、話しかけることもできないような上下関係でした。事実、そのころ一番恐ろしかったのは、親でも、先生でも、不良でもなく、サッカー部の先輩でした。

**『先輩の言葉は絶対であり、何事にも優先する』**という状況で、先輩たちに指導され、鍛えられていました。しかし、そんな師徒関係にもかわらず、私たちの中には不思議と、先輩に対して『ムカつく!』とか『女子かん!』といった悪い感情を持つ人はいませんでした。それはなぜだと思いますか? 理由は簡単です。先輩たちがみんな、サッカーに対して真剣にとり組み、私たち以上に練習に励んでいたからです。先輩たちは、**私たちに厳しかったのですが、それ以上に自分たちに厳しかった**のです。それは、サッカーに対する姿勢だけでなく、日常生活や学習に対してもそうでした。悪さをすればもちろんのこと、成績が落ちれば練習には参加させてもらえない。その上、私が行っていた学校は、県内でも名をとどろかせるほど荒れていた学校で、

校内暴力真、盛りでしたが、先輩たちは、ぶれることなく正しいことを自信もって行い、間違っていることは間違っているとして、周りに流されずに過さずしていました。また、私たちができないことに対しては、丁寧にわかりやすく、一生懸命に教えてくれ、逆に、できることをしなかったり、間違えたことをしたりした時には、それはそれは尋常じゃないくらい怒られました。

だから、そういった先輩の姿を見て、**『先輩たちはすごいなあ』『自分も先輩たちみたいになりたいな』**とあこがれていました。みなさんには、そのような先輩になてほしいと思います。

さらに、もうひとつ欲を言うと、**心の優しい先輩**になてほしいと思います。優しい人になるというのは、簡単そうで、意外と難しいものです。人に優しくしたいと思っても、行儀してたり、自分のことだけを考えて心に余裕がなかったり、ちょっとしたことが気にくわなかったりして、嫌がらせやいたづらをしてうざざらしてほうからです。また、自分は優しいと思ってやったことが、実は相手にとってはそうではないことなんかもありますよね。だから難しいのです。でも、皆さんには、後輩にはない、**その学年を経験したという大きな強み**があります。それがあるから後輩の学年の気持ちを想像することができます。そして相手からいいと思うことを考えて行動することができ、**優しさは人に移っていきます。**あなたが誰かに優しくすることで、その人が優しい気持ちになれば、その人が他の誰かに優しくできます。そうやって四中のみんなが優しい気持ちになてほしい。**自分には厳しく、自分を磨きあげ、人に優しい『あこがれの先輩』**となてほしい。それが私の願いです。



返信よろしく  
お願いします!!

